



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 日本軽金属ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5703 URL <https://www.nikkeikinholdings.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 企画統括室 広報・IR担当 (氏名) 石川 千津 TEL 03-6810-7160  
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	387,713	0.7	12,666	149.6	13,330	124.8	5,489	35.6
2023年3月期第3四半期	385,050	6.8	5,075	△73.6	5,931	△69.6	4,047	△73.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,422百万円 (150.8%) 2023年3月期第3四半期 3,757百万円 (△77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	88.62	—
2023年3月期第3四半期	65.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	534,563	228,502	39.8
2023年3月期	526,201	220,758	39.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 212,684百万円 2023年3月期 205,475百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	10.00	50.00
2024年3月期	—	10.00	—		
2024年3月期（予想）				40.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	6.4	17,000	125.5	16,000	80.6	7,500	4.1	121.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	61,993,750株	2023年3月期	61,993,750株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	50,627株	2023年3月期	69,643株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	61,936,014株	2023年3月期3Q	61,915,568株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

	ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、自動車生産の回復をはじめ国内経済活動の正常化が進んだ一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化などの不安定な国際情勢、中国経済停滞への懸念など、先行きの不透明感が続いています。

当社グループにおきましては、半導体関連の需要調整や中国での自動車関連向け減速の影響が続いているものの、パネルシステム部門の好調継続、自動車関連における国内生産の回復と米国での需要好調による販売増およびトラック架装関連でのトラックシャーシ供給正常化による販売回復により、売上高は前年同期を上回りました。採算面では板、押出製品セグメントが前年同期を下回ったものの、箔、粉末製品セグメントおよびパネルシステム部門の好調継続とトラック架装事業の回復で加工製品、関連事業セグメントが前年同期を上回ったことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期と比べ増益となりました。

## 連結経営成績

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期累計期間	2023年3月期 第3四半期累計期間	比較増減	(△印減少)
売上高	387,713	385,050	+2,663	(+0.7%)
営業利益	12,666	5,075	+7,591	(+149.6%)
経常利益	13,330	5,931	+7,399	(+124.8%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,489	4,047	+1,442	(+35.6%)

## セグメント別業績

(単位：百万円)

セグメント	売上高 (前期比)			営業利益 (前期比)		
アルミナ・化成品、地金	114,510	(△3,274)	△2.8%)	8,827	(+290)	+3.4%)
板、押出製品	72,329	(△9,840)	△12.0%)	△745	(△531)	△248.1%)
加工製品、関連事業	121,300	(+12,901)	+11.9%)	2,132	(+3,928)	-)
箔、粉末製品	79,574	(+2,876)	+3.7%)	5,379	(+4,014)	+294.1%)
消去または全社	-	-	-	△2,927	(△110)	-)
合計	387,713	(+2,663)	+0.7%)	12,666	(+7,591)	+149.6%)

各セグメント別の概況は次のとおりです。

## 【アルミナ・化成品、地金】

アルミナ・化成品部門におきましては、主力の水酸化アルミニウムおよびアルミナにおける耐火物向けやセラミックス向けでの販売減少の影響が大きく、売上高は前年同期を下回りました。採算面では、販売価格改定の効果に加え、原燃料価格高騰が軟化したこともあり、前年同期の利益を上回りました。

地金部門におきましては、主力の自動車向け二次合金分野において、国内は自動車生産の回復で販売量が増加し、海外は米国とタイでの販売好調が継続したことから、アルミニウム地金市況を反映した販売価格下落の影響で売上高は前年同期を下回ったものの、営業利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のアルミナ・化成品、地金セグメントの売上高は前年同期の1,177億84百万円に比べ32億74百万円(2.8%)減の1,145億10百万円となりました。営業利益は前年同期の85億37百万円から2億90百万円(3.4%)増の88億27百万円となりました。

## 【板、押出製品】

板製品部門におきましては、半導体製造装置向け厚板の販売低迷が継続していることに加え、アルミニウム地金市況を反映した販売価格下落の影響もあったことから、売上高は前年同期を下回りました。採算面では、販売価格改定の効果発現があったものの、営業利益は前年同期を下回りました。

押出製品部門におきましては、トラック架装向けや国内自動車関連向けで販売回復が進んでいるものの、半導体製造装置向けの販売低迷や中国における自動車関連向けの販売減速などにより、売上高は前年同期を下回りました。採算面では、販売面の影響に加え、米国新工場の量産操業安定に時間を要していることから、営業損益は前年

同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の板、押出製品セグメントの売上高は前年同期の821億69百万円に比べ98億40百万円(12.0%)減の723億29百万円となりました。営業損益は前年同期の2億14百万円の損失から5億31百万円悪化の7億45百万円の損失となりました。

#### 【加工製品、関連事業】

輸送関連部門におきましては、トラック架装事業は、トラックシャシーの供給正常化による生産増で販売が回復していることから、売上高は前年同期を上回りました。採算面では販売回復に加え、販売価格改定の効果により、営業損益は前年同期と比べ改善しました。

パネルシステム部門におきましては、冷凍・冷蔵分野では、食品工場向けや低温流通倉庫向けを中心に大型物件が好調に推移し、クリーンルーム分野では、半導体関連メーカー向けクリーンルームの旺盛な需要に支えられたことにより販売が増加したことから、部門全体の売上高、営業利益はともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の加工製品、関連事業セグメントの売上高は前年同期の1,083億99百万円に比べ129億1百万円(11.9%)増の1,213億円となりました。営業損益は前年同期の17億96百万円の損失から39億28百万円改善し、21億32百万円の利益となりました。

#### 【箔、粉末製品】

箔部門におきましては、リチウムイオン電池外装用箔は前年同期並の販売を確保したことに加え、医薬包材向け加工箔は販売価格改定による増収効果があったことから、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

パウダー・ペースト部門におきましては、粉末製品は放熱用途の電子材アルミパウダーや窒化アルミが半導体関連での需要調整の影響があったものの前年同期並の販売を確保し、ペースト製品は主力の自動車塗料向けが自動車生産の回復により海外向けを中心に販売増となったことから、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

日用品部門におきましては、コンシューマー向けではハウスクエア用品の販売増とアルミホイルの販売価格改定の効果により、パッケージ用品向けでは冷凍食品向けの需要好調による販売増と販売価格改定の効果により、部門全体の売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の箔、粉末製品セグメントの売上高は前年同期の766億98百万円に比べ28億76百万円(3.7%)増の795億74百万円となりました。採算面では、販売が堅調だったことに加え、原燃料価格高騰に対する販売価格改定の効果により、営業利益は前年同期の13億65百万円から40億14百万円(294.1%)増の53億79百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末と比べて83億62百万円増の5,345億63百万円となりました。負債は、仕入債務等による支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末と比べて6億18百万円増の3,060億61百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比べて77億44百万円増の2,285億2百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.0%から39.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期においては、パネルシステム部門の好調とトラック関連の回復基調が継続する見込みであるものの、半導体関連需要の回復見通しや中国における自動車関連の動向など、先行きの不透明感が続いていることから、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を据え置いております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更

(堆砂対策引当金)

当社グループでは、雨畑ダム堆砂対策基本計画で示した土砂量の搬出のための現実的で実行可能性のある搬出計画（搬出方法や搬出先）を複数策定し、土砂の搬出費用や土砂の搬出に使用する河川内運搬路の施工費用、搬出先で造成を行う場合はその造成費用等およびそれらに係る付帯費用を合理的に見積り、堆砂対策引当金という名称で四半期連結貸借対照表に計上しております。

第2四半期連結会計期間において、雨畑ダム堆砂対策基本計画の進捗等に伴い、土砂搬出に新たに工程等を追加する必要があることが判明したため、堆砂対策引当金の見積額を変更しております。これにより、堆砂対策費用として特別損失に1,796百万円を計上し、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は同額減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,305	30,679
受取手形、売掛金及び契約資産	150,709	154,517
商品及び製品	44,576	43,218
仕掛品	20,715	25,572
原材料及び貯蔵品	29,332	32,102
その他	16,062	15,398
貸倒引当金	△366	△327
流動資産合計	292,333	301,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,839	58,550
機械装置及び運搬具（純額）	47,488	46,426
工具、器具及び備品（純額）	5,873	5,929
土地	55,046	55,160
建設仮勘定	7,003	8,402
有形固定資産合計	174,249	174,467
無形固定資産		
のれん	1,771	1,436
その他	10,392	9,875
無形固定資産合計	12,163	11,311
投資その他の資産		
その他	48,009	48,173
貸倒引当金	△553	△547
投資その他の資産合計	47,456	47,626
固定資産合計	233,868	233,404
資産合計	526,201	534,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,539	74,524
短期借入金	93,157	89,471
未払法人税等	1,025	2,631
その他	33,758	33,042
流動負債合計	196,479	199,668
固定負債		
社債	801	851
長期借入金	69,612	67,038
退職給付に係る負債	18,571	19,222
堆砂対策引当金	12,693	12,009
その他	7,287	7,273
固定負債合計	108,964	106,393
負債合計	305,443	306,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,525	46,525
資本剰余金	19,087	19,008
利益剰余金	130,938	135,188
自己株式	△95	△70
株主資本合計	196,455	200,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,535	4,874
繰延ヘッジ損益	△39	△7
土地再評価差額金	145	145
為替換算調整勘定	5,826	7,516
退職給付に係る調整累計額	△447	△495
その他の包括利益累計額合計	9,020	12,033
非支配株主持分	15,283	15,818
純資産合計	220,758	228,502
負債純資産合計	526,201	534,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	385,050	387,713
売上原価	327,844	322,392
売上総利益	57,206	65,321
販売費及び一般管理費	52,131	52,655
営業利益	5,075	12,666
営業外収益		
持分法による投資利益	1,648	990
その他	3,539	2,798
営業外収益合計	5,187	3,788
営業外費用		
支払利息	961	997
その他	3,370	2,127
営業外費用合計	4,331	3,124
経常利益	5,931	13,330
特別損失		
堆砂対策費用	—	1,796
特別損失合計	—	1,796
税金等調整前四半期純利益	5,931	11,534
法人税、住民税及び事業税	1,255	3,480
法人税等調整額	1,952	1,995
法人税等合計	3,207	5,475
四半期純利益	2,724	6,059
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,323	570
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,047	5,489

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,724	6,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	536	1,347
繰延ヘッジ損益	△316	30
為替換算調整勘定	263	1,285
退職給付に係る調整額	△169	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	719	740
その他の包括利益合計	1,033	3,363
四半期包括利益	3,757	9,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,897	8,502
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,140	920

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	117,784	82,169	108,399	76,698	385,050	—	385,050
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,986	19,157	10,723	296	76,162	△76,162	—
計	163,770	101,326	119,122	76,994	461,212	△76,162	385,050
セグメント利益又は損失 (△)	8,537	△214	△1,796	1,365	7,892	△2,817	5,075

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,817百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属(株)の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	114,510	72,329	121,300	79,574	387,713	—	387,713
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,127	21,355	11,055	271	70,808	△70,808	—
計	152,637	93,684	132,355	79,845	458,521	△70,808	387,713
セグメント利益又は損失 (△)	8,827	△745	2,132	5,379	15,593	△2,927	12,666

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,927百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属(株)の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。